

ROTARY CLUB OF

KANAZAWA-NORTH



金沢北ロータリークラブ

例会日：木曜日 12:30~13:30

例会場：金沢市東山1-38-30・松魚亭

TEL<0762>52-2271 FAX52-2273

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL<0762>22-2525 FAX24-2882

会長：鈴木 透 幹事：坂下 直人

情報委員長：磯野 洋明

1990年12月6日 第428号

「日本の橋、世界の橋」

金沢大学工学部長 小堀 為雄氏



日本語でハシと言いますと、物の端のことを表わしますように、橋の元々の意味は、川で隔てられた道の端と端を結び渡すものと言うことであります。今程皆さんとともに食事を致しました時に使いました「箸」は、お皿から口へ物を運ぶと言うことで、これも橋渡しの一つであります。又、階段は昔より「梯(はしご)」と呼ばれておりましたが、これも一階の端より2階への端までを渡す、下から上へと端渡しすると言う意味ではないでしょうか。

地名で申しますと、加賀に「橋立」と言う処がありますが、これは海を超えた対岸へ船で渡す処であり、端であるとの意味が込められているのでしょうか。又有名な「天の橋立」は、天への掛け橋をする美しい処を表わしたのではないのでしょうか。

中国より漢字が伝った時には「高」と書いて橋を表わしていたのですが、日本では「橋」と木偏を加えて書くようになりました。中国やローマでは、昔より戦には重量のある馬車を使ったので石製の橋が造られたのですが、日本では、人が渡ることさえ出来ればそれでよしとし、大水が出て流されてしまえば又木で造り直せば良いと考えられていたので、「高」に「木偏」が付いたのだと思います。

古来日本人が持っていたこの様な「木橋」に対する考え方にも、西洋の力学的な技術が加えられて、昨今は「橋」は「橋梁」と言う二文字で表現されるようになり、鋼製をイメージさせる様になってきました。人が歩く時代より車社会となり、人よりも車輛、自動車と主役が一文字より二文字、三文字と変化して来た中で、私も多くの機能的な橋梁を造って来ましたが、この辺でそろそろ日本の本来の心を持ったような橋造りを始めなくてはいけないなと思っております。

浅の川に造りました「梅の橋」は、構造的には鋼製ではありますが、外見は木製であるように工夫しました処、大変好評を得まして、金沢らしい景色と場所と言うことで、玉三郎や多くの映画の撮影に利用され、全国に知られるところとなりました。

世界には、力学的な工夫により、さまざまな姿、型の橋があって、都市や国家のイメージやシンボルともなっています。イタリアにはイタリアらしく、ドイツはドイツらしい橋があるように、今後の日本には日本らしい良い橋を造りたいものだと思っております。

—金沢北RC例会講話より— (文責 磯野洋明)

第8回金沢市少年武道錬成大会(柔道)を終えて

社会奉仕委員長 二塚 長生

第8回金沢市少年武道錬成大会(柔道)が好天に恵まれた11月18日、北信越柔整専門学校柔道場にて開催されました。当クラブが青少年奉仕事業の一環として行なわれる大切な行事であり、青少年とロータリアンが一体となって接する時間でもあります。

午後1時半から4時すぎまで熱気漂う少年達の試合に主催者側は勿論、窓越しに観戦して下さった方々からも大きな声援と拍手が送られ、嬉しいかぎりでした。大会進行もスムーズに運び“本当に良かったな”と心より思った次第です。

選手総勢74名余、中学男子は団体戦、小学4年、5年、6年、中学女子は個人戦にて行なわれ、大きな事故もなく終了できました。木島先生、北信越柔整専門学校の先生方、各学校関係者、そして父兄の皆様、当クラブ会員誠にありがとうございました。

閉会式で大会審判長が講評で申された“礼儀とかけ声”は大変良いお言葉でありました。武道で大切なことは気合いと実技指導で示された基本の技です。選手の皆さん今大会で得たことを明日の練習に生かして行って下さい。特に全日本トップクラスの先生方の胸を借りての指導は最高でした。期待致します。本大会が来年も続くことを念じて……。

〔成績〕

小学校4年の部

- 1位 吉田 晴道(整武塾)
- 2位 駒井 正和(")
- 3位 宮田 学(")
- 3位 松本 史朗(木島健全館)

小学校5年の部

- 1位 中振 正行(整武塾)
- 2位 松本 倫治(")
- 3位 井口 孝経(")
- 3位 森田 大介(")

中学校団体の部

- 1位 浅野川中学校
- 2位 港中学校
- 3位 高岡中学校

参加者74名

小学校6年の部

- 1位 吉田 隆三(整武塾)
- 2位 酒井 泰彦(")
- 3位 宮岸 秀幸(")
- 3位 柿 陽介(")

女子の部

- 1位 村井 麻依佳(浅野川)
- 2位 森 りか(")
- 3位 武藤 こず恵(")
- 3位 前 美紀(")



職場訪問例会

—11月15日 高岡製箔・箔座—

職業奉仕委員長 坪田 良三

11月15日例会終了後、会員30名、ご夫人5名の参加を得まして、高岡製箔(株)の箔座を職場訪問させていただきました。

高岡会員夫人より金箔の製造過程をご説明いただいたあと、マスコミ等で話題になりました一億円の茶室や3,000万円の茶釜と風炉などを拝見させていただきました。

その後、金箔入りのお抹茶でおもてなしいたごき、約1時間の訪問を終えることができました。

まさに目のくらむような素晴らしい箔座を拝見し、伝統工芸分野に活力あふれる時代の風をふきこもうとの高岡製箔(株)様のチャレンジ精神に心より感服いたしました。

ご参加いただきました会員およびご夫人の皆様方大変ありがとうございました。



川柳・狂句

卓話する人にうなづく聞き上手

飯喰って居眠りをしてハイさようなら

出席し飯食うだけの会だろか

出席し賢こうなって戻らした

欠席常習者 推薦人の身の細る

役ついで斜めに読めぬ「友」の記事

高めよう 先ず会場をビルの上

高めたい 楽しみ尽し金も尽き

名会長人は見かけによると知り

募金する人もやはり美人好き

奉仕の手何処へ行くのか梯子酒

親睦と職業奉仕で午前様

「ロータリーの友」より

